

第10回東京都特別区・武三交通圏及び第9回東京都多摩地区交通圏 タクシー特定地域協議会合同会議とりまとめ

東京都特別区・武三交通圏タクシー特定地域協議会
東京都北多摩交通圏タクシー特定地域協議会
東京都南多摩交通圏タクシー特定地域協議会
東京都西多摩交通圏タクシー特定地域協議会

平成25年11月28日、アルカディア市ヶ谷において、東京都特別区・武三交通圏では第10回目、多摩地区3交通圏については第9回目となる協議会の合同会議を開催し、特定事業計画の進捗状況等について報告を受け、これを総括した上で、次のとおり協議会としてとりまとめた。

<適正化の現状認識>

- ① 過去の協議会において、リーマンショック以降の需要減に関しても既に下げ止まっているとの認識が示されたところであり、現時点においてもそうした状況に変化は見えない。

日車営収については、平成21年10月の特措法施行の後、平成22年度より対前年を上回って推移している。総営収についても平成22年度以降はほぼ横ばいとなっており、この下げ止まり傾向は、定着したものと認識する。

- ② 労働条件の改善に関しては、平成24年の東京のタクシー運転者の賃金は厚労省賃金構造基本調査によれば前年比5.5%増（平成22年から14.9%増）となっており、供給量の減少による日車営収への改善効果により、労働条件にも一定の改善がみられるところである。しかし、給与水準はいまだ他産業との比較において、十分なものにはなっておらず、引き続き今後の推移を注視していく必要がある。

- ③ 利用者の利便性については、減休車によるタクシーの不足や乗車しにくいといった苦情はなく、阻害されている状況は現在も認められない。

また、繁華街などでの不適正営業に対しては、業界団体、行政などの関係者の努力により一部の地域では顕著な改善が図られているが、その他の地域での取り組みも引き続き図っていく必要がある。

<今後の適正化の方向性>

- ① 適正化の状況については、一部の地域で適正と考えられる車両数の範囲に到達したものの、東京特別区・武三交通圏の減車率は18.5%に止まっており、余り進捗していない。

- ② 各交通圏において、地域計画の適正水準の実現に向けて関係者一同が引き続き努力していく必要があることを確認した。

- ③ 東京特別区・武三交通圏及び三多摩交通圏について、行政庁は再度4.13通達に基づく調査を実施するとしている。事業再構築に協力しない事業者に対する働きかけにより、総体としての公平性に十分に配慮しながら適正化の推進に粘り強く取り組むべきである。

<活性化の現状認識>

- ① 協議会も4年目を迎え、活性化プロジェクトの充実が相当程度図られてきたことは喜ばしい。適正化と活性化はいわば車の両輪であり、こうしたプロジェクトの実施により、新規の需要やこれまで取り逃がしていた需要を獲得していく必要がある。
- ② スマートフォン対応を含めた無線システムのサービス機能の強化においては、需要の変化に適切に対応し、かつ、新規の顧客獲得につながっていると推察されるデータも示された。
さらに東京ハイヤー・タクシー協会においては、スマートフォン配車アプリを活用した共通配車システムの開発を行っており、技術革新も取り込みながら顧客の開拓、顧客の囲い込みがなされていることは、タクシー事業及び政策の今後のあり方を考えるにあたり望ましい傾向である。

<今後の活性化の方向性>

- ① 少子高齢化社会及び東京オリンピック・パラリンピックへの対応として更なるUDタクシーの導入促進が期待されるとともに、ユニバーサルドライバー研修の受講の義務化がタクシー運転者の質の向上に寄与することを期待している。
また、利用者へのPR不足が否めないことから、業界においては引き続きUDタクシー導入促進に向けたPRを行い、その解消を図ることが肝要である。
- ② 東京観光タクシードライバー認定制度が創設され、東京の観光に関する人材育成や観光地における社会基盤の整備、観光タクシーを通じた観光PRなどを推進することにより新たな観光需要の獲得が期待される。

<今後の取り組み>

- ① 10月30日に議員立法で臨時国会に上程されていた特措法等の改正法案が可決公布され、来年1月〇〇日より施行されることとなった。
今後の地域指定如何に関わらず、引き続き適正化の推進により事業者の収益基盤の改善や運転者の労働条件の改善に努めることはもちろん、活性化に関する各プロジェクトのうち、現在調整中のものは、早期実現に向け、関係者はその取り組みを加速化させる必要がある。
- ② 需要は緩やかな回復基調にあるものの、タクシー事業が現在抱える諸問題を解決するには、適正化及び活性化対策について持続的に取り組まなければならない。当協議会としては、今後も関係者が一丸となって取り組むことを期待する。

以上